

## 部活動の地域移行等に係る申入書（回答）

### 1. 生徒数の減少傾向下での部活動のあり方

少子化による生徒数の減少により、従来の部活動が成り立たなくなっているため、地域移行を前提に整備を行い、学校単位を越えた部活動を検討していただきたい。

#### 【回答】

現在、休日には保護者クラブを中心に練習や活動を合同で行っているところも多くなってきています。中学校総合体育大会（中体連）には条件を満たせば2校合同チームで出場することができます。

また、令和5年度より申請し認可されればクラブチームで出場することが可能になりました。

ただし、学校部活に所属しながら、クラブチーム等で出場することも可能になるため、学校部活動とクラブチームとの協議や調整を行っていきます。

部活動地域移行についての全体的な協議や調整については、部活動地域移行検討委員会を設置して検討していきます。

### 2. 指導者の継続的な確保

指導者は、意欲を持った教員や地域指導者の両面で考え、指導者の登録を行うとともに各組織に呼びかけて指導者バンクの創設など、継続的な指導体制を検討していただきたい。

#### 【回答】

指導者の確保は大きな課題であると認識しています。県の主催する研修などを受けたライセンスを持つ指導者の育成を促すとともに指導者バンク登録を行うなど、持続可能な指導者体制の構築を検討していきます。

### 3. 新しい部活動を支える費用の確保

移行後の新しい部活動における予算配分や費用の調査を行い、適切な予算を確保していただきたい。また、指導者の報酬や受益者負担の増大に配慮した予算を検討していただきたい。

#### 【回答】

費用については、一定の受益者負担は必要であると考えます。ただし、生徒が希望する部活動が行えるように教育的配慮をし、経済的な理由により加入できないなど家庭環境によって不平等になるようなケースは避けなければならないと考えます。生徒が皆同じ権利のもと加入できる仕組みづくりを検討していきます。

### 4. 部活動の目的の明確化と継続できる方策

中学生の成長を考慮した部活動を行うためには、部活動の目的や考え方が重要です。それに応じた指導を行うことにより、複数顧問制や部活動とクラブ活動の指導者間の意思統一が図られ、中学生の成長に寄与するものと考えます。そのため、教育委員会としての部活動本来の目的を明確化し、指導者の意思統一の方策を検討していただきたい。

#### 【回答】

部活動は、生徒がスポーツや文化及び科学等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等に資するものです。そのことを共通認識し、生徒の身体・精神に過度な負担がかからないよう配慮することが必要となります。学校と市教育委員会や関係部署が連携し調整していきます。

### 5. 関係組織の連携調整を担う人材の登用

多くの関係者が関わるため、その調整や相談ができる人材の登用を検討していただきたい。

#### 【回答】

県の「コーディネーター配置」が予定されており、部活動地域移行検討委員会とスポーツや文化組織をつなぐコーディネーターとして活用し、調整・相談を進めていきます。